

日本口腔ケア学会認定資格（3級）申請資格について

2012年1月6日現在

日本口腔ケア学会 認定資格試験3級の申請資格ならびに認定において下記のように規定する。

1. 日本口腔ケア学会 認定資格試験3級の申請資格は、認定登録年度（申請翌年度4月1日）に会員歴3年以上であること、ならびに口腔ケアについての実施症例30例以上の報告書を受験資格として、各々の職域において所属する部門の口腔ケアリーダーとしてふさわしい知識を有するものを認定する。試験内容には各々の職能における口腔ケア実施範囲についての知識を含む。（一次判定として書類審査が行われ、一次判定合格者は二次判定として、筆記問題が行われる。一次判定合格者で二次判定での不合格者は、その後、3年間は一次判定を免除されるため、報告書の提出は不要。）

2. 書類審査（一次判定）においては本人の経歴経験、特に口腔ケア実施症例日本口腔ケア学会での学会発表、論文発表の有無、5級または4級の認定資格の有無等を総合的に審査する。

以上

一般社団法人日本口腔ケア学会